

## 謝 辞

本調査を進めるに当たって、多くの方々のご協力をいただいた。東京圏・大阪圏・名古屋圏の各地区の教育委員会の様々な担当者の方々には、本調査の趣旨を快くご理解いただくと同時に、地区内の関係学校へのアンケート用紙の配布にあたり多大なご協力をいただいた。また、実際にアンケートに回答して下さった中学校・高等学校の校長先生と教員の方々には、2学期という大変忙しい時期にもかかわらず丁寧な回答を寄せていただいた。この場を借りて、感謝申し挙げる次第である。最後になったが、前期及び後期中等教育段階で学習障害のある生徒への教育の現状と課題について日米比較するという筆者のプランを心から支援して下さり、アメリカ側の調査の後、今回の日本側の調査についても調査結果をまとめるまでに継続してアドバイスくださった、カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA) の Dr. Barbara K. Keogh に感謝したい。

平成13年(2001年)1月 発行

問い合わせ先

柘植 雅義

国立特殊教育総合研究所  
軽度知的障害教育研究室

住所 〒239-0841

神奈川県横須賀市野比5-1-1

電話 0468-48-4121

FAX 0468-49-5563

URL <http://www.nise.go.jp>